

令和6年度 昭島市立清泉中学校
社会 年間指導計画、評価規準〔第3学年〕

学期	月	時数	単元名と内容	単元のねらい	観点別評価規準(主たるもの)		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4 5 7	12	第5章 開国と近代日本の歩み (1) 欧米の進出と日本の開国 (2) 明治維新 【歴史的分野】	開国と明治維新の意義について理解する。	開国と明治維新について ・欧米の接近 ・日本の開国 ・江戸幕府の滅亡 ・明治維新 ・日清・日露戦争と近代産業を理解している。	開国から幕府の滅亡、明治維新、そして富国強兵政策と流れをおさえて理解することができる。	活動に対して積極的に取り組むことができる。
		20	第6章 二度の世界大戦と日本 【歴史的分野】	第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。	第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きなどを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢と、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。	戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けするなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	第一次世界大戦前後の国際情勢について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	9 ・ 10	18	第7章 現代の日本と私たち 【歴史的分野】	冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。	冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。	諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどとして、日本の民主化と冷戦下の国際社会、日本の経済の発展とグローバル化する世界について、現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
		15	第1章 現代社会と私たち 【公民的分野】	現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解させる。	現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。	位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
2・3	12 1 3	16	第2章 個人の尊重と日本国憲法 【公民的分野】	人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解させる。	人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。	人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。
		20	第3章 現代の民主政治と社会 【公民的分野】	国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させる。	国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
1	4 5 7	20	第4章 私たちの暮らしと経済 【公民的分野】	身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解させる。	身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。	市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
2・3	9 3	15	第5章 地球社会と私たち 【公民的分野】	世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。その際、領土、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解させる。	地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。	対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
		4	終章 より良い社会を目指して 【公民的分野】	社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述させる。		社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述している。	私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
				評価方法	定期テスト、小テスト	定期テスト、ワークシート、レポート、発表、グループ活動	ワークシート、単元振り返りシート、課題の取り組み状況
評価基準			上記の評価規準、評価方法に基づき各観点別に合計140時間				「A：十分満足できる」 「B：おおむね満足できる」 「C：努力を要する」 80%以上の達成率＝A 50%～80%の達成率＝B 50%未満の達成率＝C と判定する
修学旅行 (10月)			【関連する単元】 (歴史) 古代までの日本 (地理) 日本の諸地域				活動に対して積極的に取り組み、意欲的に追究することができる。